

令和6年度第1回療育研修会グループワークまとめ

新聞紙、タオル、ペットボトルなど身近な物を使ってどのような遊びを考えるか、その遊びはどんな感覚を使うかをグループで話しあいました。

たくさんアイデアが出され、「明日からの活動に早速取り入れたい」「多種職の方と話して、いろいろな視点があることに気づいた」等、遊びの幅が広がることを学ぶ機会となりました。

【新聞紙】

〈ちぎる〉

- ・全力でちぎる。
- ・長くちぎる、長くちぎって競争する。
- ・2人でちぎる。
- ・大きな音の時には大きく、小さな音の時には小さくちぎる。
- ・ちぎる音を楽しむ。
- ・真ん中をちぎって輪にする。

〈ちぎった物で遊ぶ〉

- ・足先でたぐり寄せる。
- ・輪にしたものの中にはいってちぎれないように電車ごっこをする。
- ・ちぎったものを体にかける、まく、上から降らせる、落ちてくるものを掴む。
- ・ちぎった物を集める。集め方を工夫する。手で集める、足で集める、雑巾で集める。
- ・集めて袋に入れてパンチする。

〈丸める〉

- ・自分の気に入る固さで丸める。
- ・丸めたものをほどいてあそぶ。

〈新聞紙プール〉

- ・丸める、ちぎる、はさみで切るなど作るところからはじめる。
- ・丸めた新聞紙とちぎった新聞紙で異なる触感の新聞紙プールを作る。2つのプールを混ぜるのもよい。
- ・全身入って埋もれる、足だけ入る。
- ・プールに入らず、作ることしかしない子がいてもよい。
- ・クールダウンエリアにする。

〈サーキット〉

- ・トンネルみたいにしてぐる。
- ・投げる。力いっぱい投げる、的あてにする、リングに向かって投げる、ぐるぐる回った後に投げる。
- ・ひらひらの暖簾をぐる。
- ・棒状にしてバランスをとる。

- ・ステップのようにする。
- ・新聞紙プールでクールダウンエリアを設ける。

〈その他〉

- ・棒状の新聞紙で振りかざして頭に当たらないように手で止める。
- ・新聞紙を走りぬけて突き抜ける。張っている状態、緩めた状態など状態を変える。
- ・新聞紙の上を破れないように歩く。
- ・布団のようにする。包まる。
- ・太めの棒にして上から落として掴む。
- ・新聞紙の上のり、じゃんけんして負けたら折ってだんだん小さくしていく。
- ・切って洋服にする。
- ・雑巾かけ(環境によってすべり具合が違う)
- ・新聞紙の枚数を変える
- ・新聞紙に所々穴をあけて新聞紙のボールを転がし、穴に入らないようにする。新聞紙の枚数や穴の大きさを変えて難易度や感覚を変化させる。

【タオル】

〈揺らす〉

- ・タオルブランコ。
- ・揺らして縄跳びにする。

〈引っ張る〉

- ・二人で引っ張り合う、綱引き。
- ・二枚使って引っ張る。
- ・子どもを乗せて引っ張る。大人と子ども、子どもと子ども。つかみにくい子には厚さを調整したり端を結ぶなどしてつかみやすい工夫をする。
- ・一人がタオルをつかんで引っ張られ、もう一人が引っ張る。

〈ゲーム〉

- ・タオルの上に乗る、じゃんけんして負けるとエリアが小さくなる。
- ・タオルを頭の上ののせて落とさないように運ぶ。
- ・タオルの上にボールなどを乗せて落とさないように運ぶ。
- ・タオルを仰いで、風で物を倒す。
- ・しっぽとり。
- ・タオルを長く裂く競争。
- ・タオルを2人の間の仕切り(目隠し)に使用してジャスチャーゲーム。
- ・タオルを足でたぐるゲーム。最初は足全体→タオルを足でつまむ→足先でたぐる。椅子に座ってする、バランスボールに座ってする。タオルの上に物を置いてする。ご褒美を置いて楽しみをつくる。

〈その他〉

- ・ボールでくるむ。
- ・子供をタオルに巻いて転がす。
- ・いろいろな手触りのタオルの上を転がる。
- ・様々な素材、温度(冷たい、温かい)のタオルの感触を楽しむ。
- ・マントにしてごっこ遊び。
- ・タオルで手や足ゴシゴシこする。ボディイメージ体操。
- ・四隅をもって上に放り投げる。
- ・いないいないばあ。
- ・ぞうきんがけ。1枚を複数人でする。タオル上に物をのせてぞうきんがけ。リレー。
- ・丸めてボールにする。キャッチボール。ボール投げ。
- ・片方結んで大人が振り回す 当たらないように上下によける。
- ・細長くして平均台のようにして渡る。
- ・並べて間をジャンプ。
- ・上にかけてジャンプして取る。
- ・そり遊び。
- ・かくれんぼ。

【ペットボトル】

〈中にいれる〉

- ・中にビーズなど小さいものをいれて、音・振動刺激を楽しむ。
- ・プットイン。中に落とす。
- ・水と油(ベビーオイル)を入れて、ひっくり返しながら変化を楽しむ。ばねを入れるとくるくるするので、眺めて楽しむ。
- ・水をいれたペットボトル、砂をいれたペットボトルの違いを感じる。
- ・色水を足していき、色の変化を楽しむ。色を混ぜる。
- ・水を足していき重さの違いを感じる。
- ・ペットボトルに水をいれ、しょうゆ入れにも水を入れたものを浮かべると、ペットボトルをつぶしたときに浮き沈みするおもちゃができる。
- ・水のりを入れて凍らせ握ってみる。
- ・冷たいもの、温かいもの入れてみる。

〈ゲーム〉

- ・ボーリングのピンにする。色水をいれる。ボールの大きさを変える。
- ・わなげ。
- ・大小いろんなボールを投げてペットボトルを倒す。点数をつける。

- ・トレーの上において倒さないように運ぶ。水の量で難易度を変える、距離を変える、コースに芝や凸凹をつくる、一人で運ぶ→二人で運ぶ、時間制限を設ける。
- ・ペットボトルでコースを作ってボールを転がす。

〈サーキット〉

- ・人間がボールになって思いっきり倒す。
- ・マットにペットボトルを投げる。
- ・満タンに入れたペットボトルを持って思いっきり走る。
- ・ペットボトルを投げる。高い位置や低い位置にペットボトルを置いて狙って投げる。
- ・平均台の上にペットボトルを置いてそーっと倒さないように歩く。

〈その他〉

- ・積み上げる。
- ・水を入れて平ゴムをペットボトルにくくり、ゴム跳び。
- ・水を入れたペットボトルを投げて立つかチャレンジする。自分で水の量を調整する。
- ・地面に置いた(敷いた)ペットボトルの上を歩く。音も楽しめる。
- ・ビニールプールにたくさんペットボトルを入れて踏んだりして感触や音を楽しむ。
- ・水を入れて、ひもでキャップ下(首の部分)にひっかけて持ち上げる。
- ・キャップをはじく。吹いて飛ばす。
- ・台になるものに輪ゴムをつけてキャップを飛ばす。
- ・2本のペットボトルに紐を巻き付けて、一方のボトルで巻き取る。早く巻き取る、倒さないように巻き取る、ペットボトルの大きさや紐の長さ・素材を変えて行う。